

Vol.040

福島市議会真政会報  
— 平成26年10月 —

# 真政会報

## 真政会要綱

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」として「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！



### 会長挨拶

### 来年度予算編成を控え、市長は明確なビジョンを！



穴戸 一照

小林市長の施政方針も4回の本会議を通じて明らかになってきました。将来人口40万人を目指すまちづくり構想は、メデカルバレー構想等の企業誘致策等による人口増を目指す従前の答弁が繰り返され、新たに

人口要件が緩和された中核市を早ければ29年度中の移行を目指す方針が示されました。少子化対策としては、子ども手当5千円上乗せ支給については、複合的な少子化対策の中で有効な対策を検討するとの後退した答弁で、これは我が会派の主張でもありません。27年度予算編成を控え自主財源が伸び悩む中、市長の明確なビジョン提示が求められます。

9月24日より無所属の大平洋人議員が当会派に入会されました。自由闊達な意見の交換による市民福祉の向上を目指します。

### 市民に開かれた議会を目指して「通年議会」スタート！

福島市議会は「議会基本条例」制定により、議会改革の柱の一つである「通年議会」を、8月12日からスタートしました。

これまでの年4回の定例会や臨時会などの日程上の制約がなくなり、災害などの緊急事態に素早く対応ができるようになります。さらに、議会の公開や傍聴手続きの簡素化、議論を深めるための「反問権」の導入等に加え、今後、決算や予算審議の議論の経過や結果等の内容について報告する議

会報告会を開催し、市民に開かれた議会を目指します。今回は11月14日(金)から16日(日)まで、市内4地区で初めの議会報告会を開催します。

日付	会場	時間
11月14日(金)	市民会館第2ホール	午後7時～8時30分
11月15日(土)	飯坂支所2階大会議室	午前10時～11時30分
11月15日(土)	蓬萊学習センター分館	午後1時30分～3時
11月15日(土)	大ホール	午後7時～8時30分
11月16日(日)	信夫学習センター1階大ホール	午前10時～11時30分

### 平成26年9月議会定例会議の報告

9月定例会議は9月1日に開会、一般会計予算は教室エアコン整備事業費、福島体育館再整備事業費等を含む47億1,250万3千円、特別会計4億4,944万6千円の補正予算の審査及び消防ポンプ自動車・高規格救急自動車等財産取得や福島市特定教育・保育事業の運営に関する基準を定める条例制定の件など審査並びに請願陳情・意見書の審査等を行い22日に閉会しました。

一般質問では、当会派から菅田憲孝議員、渡辺敏彦議員、二階堂武文議員、小松良行議員、半沢正典議員の順に5名が質問に立

ち、震災・放射能対策をはじめ市政各般にわたり質すとともに、希望ある復興及び子どもたちの教育・福祉の向上に向けた取り組みについて、最大会派として責任ある言動を旨とし、市長はじめ担当部局と議論を交わしました。

平成25年度決算審査にあたっては、決算特別委員会を設置し、総務、経済民生、文教福祉、建設水道の4分科会並びに議員全員による全体会の審査を行いました。総括質疑では会派を代表し、黒沢仁議員、尾形武議員が詳細にわたり予算執行を質しました。

TEL 535-1111  
FAX 533-7614

URL ▶ <http://www.sinseikai.net/>  
E-mail ▶ [host@fk-shinseikai.org](mailto:host@fk-shinseikai.org)

発行責任者 ▶ 穴戸 一照  
編集責任 ▶ 政務調査会

# 各常任委員会・分科会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。今年4月からスタートした福島市議会基本条例に基づき一層頑張ってまいります。なお、【 】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

## 総務

(定数9人)

### 【渡辺・真田・二階堂】



▲今後、外構工事をして開署が待たれる飯坂消防署

【政策推進部】住宅の除染につきましては、8月1日現在、計画件数約9万5千件のうち、約3万9,000件の除染が完了したところであります。今年度計画分約24,000件については、6月末にまでに全て発注を完了致しました。仮置き場につきましては、これまでに13か所の設置が決定し、中央東地区等を含め、6か所において除去土壌の搬入を開始しております。また、道路

除染につきましては、仮置き場への除去土壌搬入が可能となった地区から実施し、発注延長約374kmのうち、約180kmの除染が完了しております。【財務部】支所及び出張所予算を追加し、支所・出張所機能の充実を図りました。【消防本部】消防ポンプ自動車及び高規格救急自動車を取得し、消防救急体制の強化を図りました。

#### 主な補正予算

- 支所及び出張所費（支所等維持管理・物品管理費追加）…… 18,000
- 常備消防施設等維持管理費…… 1,400（千円）

## 文教福祉

(定数10人)

### 【中野・尾形・田畝】



▲福島地方気象台の小畑英樹氏から防災上の気象台の取り組みについて聴取

【教育委員会】原発事故影響下における子どもたちの教育環境の整備・充実を図るため小・中・特別支援学校の各教室にエアコン設置の予算の補正を行いました。また、本市児童・生徒の運動不足の解消や生涯スポーツの振興のため、福島体育館を県より購入し、体育館・武道館に再整備するための費用を計上しました。【健康福祉部】子ども・子育て新制度が来年度からスタートしますが、その準備として関連の条例の改廃、新たな制定を実施しました。また、需要が増加している放課後児童クラブの開所時間延長のための補正予算を計上し、働く保護者の方々の支援の強化を図りました。さらに、介護給付費が増大するなか、介護保険事業費の不足が見込まれるため、2億円余の増額補正を行いました。

#### 主な補正予算

- 教室エアコン整備事業費…… 2,987,825
- 放課後児童クラブ開所時間延長事業費…… 92,040（千円）

## 経済民生

(定数10人)

### 【穴戸・黒沢・白川・菅田】



▲わらじまつりに参加

【農政部】米の全量全袋検査が今年も「福島市地域の恵み安全対策協議会」が主体となり実施されます。さらに、農業・農村振興条例に基づく年次報告の説明がなされました。【商工観光部】福島商工会議所等が実施する地域活性化共通商品券発行事業に対し補助を行います。また、来春のふくしまディスプレイーションキャンペーン本番に向け、花見山環境整備や外国人観光客の受け入れ態勢を強化。さらに、福島市観光開発株式会社等、市が資本金を出資している法人の事業計画について質しました。【市民部】国民健康保険事業における高額医療費の自己負担限度額の見直し実施対応の電算システム改修等を行います。

【環境部】福島市一般廃棄物処理基本計画及び平成26年度の実施計画の策定について説明がありました。

#### 主な補正予算

- ふくしまディスプレイーションキャンペーン…… 12,000
- 地域活性化共通商品券発行等事業補助金…… 44,000（千円）

## 建設水道

(定数9人)

### 【小島・半沢・小松・萩原】



▲ふくしま北中央公園の防災トイレを視察

【建設部】原発事故による自主避難者を対象とした子育て定住支援賃貸住宅の入居資格等を定めた条例制定の件を審議。現在、町庭坂地区に建設中であり、今後来年1月より入居を受付、3月下旬より入居開始の予定も示されました。【都市計画部】震災復興官民連携事業費として、福島駅周辺利便性向上や魅力アップを図るためコンベンションホールや東西連絡通路等について検討し計画を策定します。また、震災後の減少している子供たちの公園利用の増大を図るため、子ども元気アップ推進事業を追加し、新たに4公園の遊具更新を実施することとしました。【水道局】下野寺水源ポンプ所敷地を活用し県が復興公営住宅を建設することとなり、本市にて施設の撤去工事を実施し、その後、県へ売却されることとなります。

#### 主な補正予算

- 子ども元気アップ推進事業費…… 151,881
- 下野寺水源ポンプ所撤去工事費…… 240,000（千円）

# 全国市議会議長会研究フォーラムin岡山へ参加

8月6日・7日、全国市議会議長会の主催による「第9回全国市議会議長会研究フォーラム」が岡山市で開催されました。全国の395市議会から1,960名が参集。来年11月、次年度開催地である福島市議会からは、当会派14名を含め28名の議員が参加し研鑽を積むと同時に、参加者全員がハッピー姿で福島の観光PRにも努めました。



▲日本創成会議座長の増田寛也氏(元総務相)による基調講演は注目を集めた

講演者である増田寛也氏は、元総務大臣であり日本創生会議議長として人口減少問題について、5月に市区町村別の将来人口推計を公表しました。報告により、将来、全国の自治体の約半数が消滅する可能性があるとのこと。対策として、①少子化対策②

## 基調講演「人口減少時代と地方議会のあり方」

東京一極集中対策を同時に行うことが必要であり、具体的な事例を挙げ説明。今後は、長時間労働への企業の意識改革を含め、子育てしやすい環境づくりが急がれるとともに、地域雇用の開拓、学ぶ場の充実など対策を議論していくことが必要です。

## パネルディスカッション

「分権改革20年と地方議会のあり方」というテーマで、牛山久仁彦明治大学教授をコーディネーターに、5人のパネリストが発表。林宜嗣・関西学院大学教授、穂坂邦夫・元志木市長、土山希美枝・龍谷大学准教授、城本勝・NHK解説副委員長、則武宣弘・岡山市議会議員が、様々な角度から議論を展開しました。特



▲佐藤福島市議会議長と福島市議会から参加した27名の議員が「来年は福島へ」とアピール

## 次回は、来年11月に福島市で開催

初日研修の終了時に、次期開催地として福島のアピールを行いました。本市出身の作曲家、古関裕而氏の「栄冠は君に輝く」の曲に乗せて、まず、ふくしまのPRののぼりを持って登壇。その後、「あたたかいご支援ありがとうございます」との横断幕を広げました。佐藤福島市議会議長から、災害支援の御礼と復興4年目の福島の現実を見てほしいと参加を訴えました。

に、この20年間で分権改革を超える人口減少という社会環境の大きな変化が進む中、具体的な地域課題を解決していくためには、「会派を繋いで、議会意志を統一し、政策議会を実現」していかなければならない」という穂坂邦夫氏の発言は、示唆に富むものでした。



▲真政会からは全員参加で臨みました(前日のリハーサル終了時に撮影)

## 平成25年度決算特別委員会の報告

平成25年度一般会計の決算額は、歳入総額1,582億3,239万円(前年度比25.1%増)、歳出総額1,522億9,596万円(前年度比26.6%増)で過去最大の決算額となりました。それは放射能物質除染費541億3,217万円を含む、災害復旧費556億3,864万円(全体の36.5%)が主

な要因です。歳入歳出差引額は59億4,388万円でしたが、翌年繰越明許費を除くと、差引実質収支額46億5,614万円の繰越決算でした。歳入決算額の自主財源518億5,469万円で、昨年度より0.7%増にとどまり32.8%。依存財源は、1,063億8,515万円で67.2%で、災害復旧費を含む国、県

の支出金が760億401万円と大半を占めます。また、市債残高は、一般会計平成25年度末839億6,147万円となり、昨年度より17億6,217万円減少。財政状況の判断となる実質公債費比率は4.5%、将来負担比率36.5%と改善されました。今後とも健全化の方向性を注視していかねばなりません。

## ハッピー姿で福島の観光をPR



フォーラム初日、会場受付通過後のロビーにて、今回参加した福島市議会議員が、ふくしま観光のノボリ旗とともにハッピーを着用し、来年11月、次期開催地の福島への参加を呼び掛けながら観光パンフレットを配りました。他県の市議からは、「必ず行くよ。がんばって!」と声援もいただき、ますます意気が上がりました。

### 平成26年9月

#### 定例会議で採択された



請願	●「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書提出方について
陳情	●住民の命を守る住宅の耐震化を促進するために耐震改修助成制度の創設を求めることについて
意見書	●魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書 ●2015年度予算において介護・子どもに関する施策の充実・強化を求める意見書 ●「被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書

### 9月定例会議一般質問（抜粋）

今回の一般質問では、当会派からは菅田憲孝議員、渡辺敏彦議員、二階堂武文議員、小松良行議員、半沢正典議員の順に5名が質問に立ち、市政各般の諸課題を質しました。

#### 本市の中核市への移行 そのメリットと課題は？

福島市は、早ければ平成29年度中に中核市への移行を目指して取り組むこととなりました。答弁の中で、移行によるメリットは、県から事務及び権限が委譲され、地域の実情に則したきめ細やかな市民サービスの実現や事務の効率化・迅速化が可能となること、他、保健所を設置することにより保健指導などと合わせ、立体的な保健衛生サービスの提供が可能となることなどが挙げられました。課題としては、保健所の設置や医師、獣医師といった専門職員の確保などがあるとのこと。一方、中核市移行に伴う事務経費の増加分は地方交付税で措置されることとなります。

#### 自主避難者は最大時から比較して約30%減少！

「原発事故直後の自主避難者数と現在までの人数の推移について」は平成24年6月末が最大で7,473人であったが、平成26年7月末現在では5,376人となっており最大時から比して2,097人、約30%減少しています。「帰福の理由・事情について」は、住宅除染が着実に進み、空間

#### 学校司書の配置拡大で図書館の利用促進を！

今回の学校図書館法改正で配置が努力義務となる学校司書。この役割は、現在、市立の小学校と中学校に配置されている47名の司書教諭の指示を受けて、連携して学校図書館の運営の改善をはかり、児童や生徒の一層の利用を促すことです。「福島市が2年間に及ぶ学校司書のモデル事業で得た知見をもとに、そして約40校から寄せられた学校司書の配置要望に少しでも添うべく、来年4月からの施行に合わせて、最低でも中学校学区単位に一人ずつの学校司書の配置をすべき」との提案に対し、教育長から「拡大を視野に検討します」との答弁を得ました。

#### 広島豪雨災害を教訓に「避難基準」作りが急務

8月20日未明広島市北部で局地的に猛烈な雨が降り複数の土石流が発生し、甚大な被害が発生しました。その際、市の避難勧告が災害発生前に出せず、対応の遅れが指摘されました。本市も地域防災計画で、避難の準備情報提供や勧告、指示について実施基準を定めているものの避難の目安とする具体的な基準はありませんでした。今後、災害時に分かりやすいよう雨量などを目安にした指標づくりに早急に取り組む。災害時には本年3月に稼働を始めた災害に強い情報連携システムなどにより、全市民に情報が行渡るよう取り組むとのこと

#### 中央市民プールの改修 来季中に間に合う様に

福島市の市民プールは、震災以降、放射線による健康不安等の影響からか、利用者が減少し続けています。特に、中央市民プールは震災前に年間61,000人いた利用者が8,600人へと大幅に減少。さらに、同プールは東日本大震災の影響でスライダープールや幼児用プールが循環浄化ポンプの故障、遊具やプール内の亀裂・剥離のため、現在も使用できません。「来季には絶対に間に合うよう改修すべき」との要望を添えて、夏休みの娯楽として体育の向上には欠かせない市民プールの活用について質しました。

今回の一般質問の全体内容は、福島市議会ホームページ【<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/site/gikai/index.html>】の「議会録画中継」でご覧いただけます。

**真田 広志**  
 会長代行  
 総務常任委員長  
 議員倫理条例策定特別委員  
 議会改革検討会委員  
 松浪町 1-15  
 TEL : 526-3201

**中野 哲郎**  
 顧問  
 副議長  
 文教福祉常任委員  
 議会広報委員長  
 飯坂町八幡新田 11-1  
 TEL : 542-9111

**渡辺 敏彦**  
 顧問  
 総務常任委員  
 議員定数削減調査特別委員長  
 松川町字青麻山 3  
 TEL : 567-2660

**小島 衛**  
 顧問  
 建設水道常任委員  
 太田町 14-2  
 TEL : 535-1731

**宍戸 一照**  
 会長  
 経済民生常任委員長  
 議会運営委員  
 荒井字上町裏 10  
 TEL : 593-1035

**尾形 武**  
 政調会参与  
 文教福祉常任委員  
 震災・原発対策特別委員長  
 議員倫理条例策定特別委員  
 松川町浅川字大内9  
 TEL : 548-7683

**田畝 誠司**  
 幹事会事務局長  
 文教福祉常任委員  
 議会運営委員  
 議員倫理条例策定特別委員  
 さくら 3-1-10  
 TEL : 593-0919

**萩原 太郎**  
 副幹事長  
 建設水道常任委員  
 議員定数削減調査特別委員  
 山口字下屋敷 28-2  
 TEL : 535-4693

**半沢 正典**  
 幹事会参与  
 建設水道常任委員  
 議会運営副委員長  
 議員定数削減調査特別委員  
 上島渡字寺北 28-3  
 TEL : 593-5256

**黒沢 仁**  
 幹事長  
 経済民生常任委員  
 震災・原発対策特別委員長  
 議員倫理条例策定特別委員  
 飯野町大久保字  
 谷津 44  
 TEL : 562-3582

**編集後記**  
 福島駅の八百屋さんで、福島産のくだものが並んでいた。少し前までは地元産がほとんどなく腹立たしい限りだった。安全性が認知されてきたのかと思うと嬉しくなり、福島産のぶどうを購入して食した。やはり福島産はうまい。

**菅田 憲孝**  
 政調会事務局長  
 経済民生常任委員  
 議員倫理条例策定特別委員  
 本内字西畑 4-6  
 TEL : 553-7030

**二階堂 武文**  
 副政調会長  
 総務常任委員  
 議会運営委員  
 議会広報委員  
 町庭坂字内町 51-2  
 TEL : 591-1138

**白川 敏明**  
 副政調会長  
 経済民生常任委員  
 議員定数削減調査特別委員  
 飯坂町字中原 36  
 TEL : 542-4041

**小松 良行**  
 政務調査会長  
 建設水道常任副委員長  
 議会運営委員  
 議員定数削減調査特別委員  
 瀬上町字東町 2-6-10  
 TEL : 553-0647